

南御堂シアター 原子力問題を考える公開講座

フクシマの苦難が照らす人の生き方

講師

こ い で ひ ろ あ き
小出 裕章 氏

1949年、東京の下町生まれ。1968年、東北大学工学部原子核工学科入学。1970年10月23日、女川原発に反対する集会に参加し「反原発」を決意。

1974年、東北大学大学院工学研究科修士課程修了。同年、京都大学原子炉実験所原子力基礎工学研究部門助手、2007年4月の大学教員の呼称変更に伴い助教に。専門は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。人形峠のウラン残土訴訟では住民側に立ち、地裁・高裁あわせて8通の意見書を提出。

著書に『放射能汚染の現実を超えて』（北斗出版）『原子力と共存できるか』（かもがわ出版）『人形峠ウラン鉱害裁判』（批評社）『原発のウソ』（扶桑社）『原発はいらない』（幻冬舎）『原発のない世界へ』（筑摩書房）『いのちか原発か』（風媒社）、ほか多数。



写真撮影 / 松岡広樹

甚大な被害をもたらした福島第一原発事故から4年。福島の人たちは今なお、放射能の不安を常に抱えながらの生活を余儀なくされています。福島第一原発では汚染水をはじめさまざまな問題が山積しているにもかかわらず、国のエネルギー政策は原発を離れることをしません。

そしてなによりも、時の経過とともに、私たち一般市民もいつの間にか日常に埋もれ、早くも原発事故の記憶が風化しつつあるのではないのでしょうか。原発の問題は福島だけの問題ではありません。すべての人間のいのちの問題です。関西に住む私たちも原発の恩恵にあずかり、それを容認してきたことを忘れてはなりません。

真宗大谷派「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」では、一昨年に引き続き、科学者の立場から長く原発の危険性を訴えつづけてきた小出裕章さんを講師に、福島第一原発事故の現状と今後、そして原子力発電所の新規制基準と再稼動の問題等を改めて認識し、そのことを通して私たち一人ひとりが「人の生き方」を考える機縁になることを願い、公開講座を開催いたします。

参加申込が必要です
裏面をご覧ください
(参加無料)

2015年

5月19日(火) 午後6時から

会場 | 大阪市中央区久太郎町4丁目1番11号 難波別院内
御堂会館 大ホール

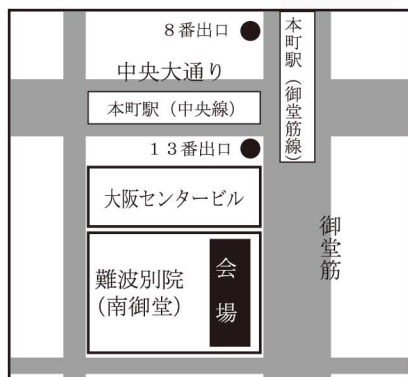
主催 / 真宗大谷派大阪教区「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」

協賛 / 同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議 (大宗連)

南御堂シアターについて

難波別院（南御堂）では、「南御堂シアター」と称して、約 1,000 人を収容する御堂会館大ホールをはじめとした境内の諸施設にて、映画上映・講演会やコンサートなど、社会の問題をどのように受け止めていくのかを発信してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場へのアクセス



大阪市中心区久太郎町 4 丁目 1 番 11 号

市営地下鉄御堂筋線「本町駅」

8 番出口から南へ 200 メートル

13 番出口から南へ 50 メートル

※ご来場には公共交通機関をご利用ください。

ご参加のお申し込み

5月13日(水) 必着にてお申し込みください。お申し込みいただきましたら、後日、入場整理券をお送りいたします。

★Eメールでのお申し込み（申込先：osaka@higashihonganji.or.jp）

①お名前、②ご住所、③参加人数、④電話番号、⑤本講演会をどこでお知りになったか（下のFAX申込欄のチェック欄をご参照ください）、の5点を明記の上、上記アドレスまでお申し込みください。

★FAXでのお申し込み（FAX 番号：06-6251-4796）

ふりがな			
氏 名		参加人数	人
電話番号			
住 所	(〒)		
本講演会をどこでお知りになりましたか。右の項目の□にチェックしてください。	☐ 難波別院境内 ☐ 全寺院発送ちらし ☐ 南御堂新聞折込ちらし ☐ 大宗連からの案内 ☐ 主催者からの直接案内 ☐ 寺院からの紹介 ☐ 人権啓発関係団体からの案内 ☐ ホームページ ☐ その他 ()		

※Eメール・FAXがない場合は、上のFAX申込欄にご記入の上、下記真宗大谷派大阪教務所までご郵送ください。

◆注意事項

- ①お席は自由席です。当日ご来場の先着順でお席にお座りいただきます。
- ②参加者数が多く満席の場合は、立ち見となる可能性もございますので、あしからずご了承ください。

お問い合わせ 真宗大谷派大阪教務所 TEL: 06-6251-4720
〒541-0056 大阪市中心区久太郎町 4 丁目 1 番 11 号